

施設名称	〔6〕 東京都台東区立朝倉彫塑館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31			
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3) 経営状況	22年度決算 歳入 804,726,858円 歳出 762,325,465円 収支差額 42,401,393円 (区返納金22,401,393円次期繰越金 20,000,000円)					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区谷中 7-18-10					
(2) 設置目的	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。					
(3) 利用者	区民ほか					
(4) 開館日・時間	保存修復工事のため、平成21年4月から休館中である。					
(5) 規模	延べ床面積 1,233.96㎡ R C造(アトリエ) 木造瓦葺(住居) S造(収蔵庫) 地上3階地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等(公開部分洋室、和2室)、展示室、収蔵庫、庭園など					
(6) 人員体制	3名 派遣職員(1) 研究員(1) 専門員(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1) 委託事業	休館中における彫刻、彫塑等の美術作品の保管・収集等。彫塑等に関する調査及び研究などの事業。					
(2) 自主事業						
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	27,886,000	28,708,000	25,154,000	16,115,000	5,476,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	27,886,000	28,708,000	25,154,000	16,115,000	5,476,000
決算	委託料	23,278,244	25,952,618	21,948,659	13,829,887	5,351,658
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	23,278,244	25,952,618	21,948,659	13,829,887	5,351,658
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	257	255	休館中	休館中
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
入館者数		人	休館中	45,957	休館中	休館中

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

書道博物館の特別展で朝倉作品の展示を行ったり、他の美術館等へ所蔵作品の貸出しを行うなど、朝倉文夫や朝倉彫塑館の積極的なPRに努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[-]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[-]	(e) 危険箇所等の確認	[-]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[-]
	(c) 清掃・衛生管理	[-]	(g) 業務委託の事前承認	[-]
	(d) 施設の修繕	[-]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[-]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.5]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[-]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[-]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[-]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	芸大と連携した『コレクション展』の実施や、区内に点在する朝倉文夫作品を訪ねる『たいとうぶらり散歩』を実施するなど、積極的に朝倉文夫作品や朝倉彫塑館のPRに努めた。
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の維持管理は適切になされている。
(3) 利用者の満足度	S	『コレクション展』では多数の朝倉作品を一堂に見られる貴重な機会となりお客様から好評を得た。また、会期中に学芸員によるギャラリートークも開催し、お客様からは「とても良かった。」等の意見を多数いただき、利用者の満足度は高かった。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当 休館中においても、積極的にPR業務に取り組んでおり、委託業務は円滑になされている。また、収蔵品の管理も適切に行われている。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

朝倉文夫や朝倉彫塑館のPRに積極的に取り組むとともに、リニューアルオープンに向けての企画・検討を進めていく。